

郡山市工業用水道事業の紹介

○事業の趣旨

郡山市は、昭和61年12月郡山市を母都市とする「郡山地域テクノポリス建設」の指定を受け、産・学・住・さらには、遊（教養、娯楽、余暇）・創（本社機能や研究所、産業支援サービス等）の産業の頭脳部）が有機的に結合した新しい都市づくりを展開している。その中でも、特に高度技術産業集積基地として、251.3haの「郡山西部第二工業団地」を開発し、郡山市の将来にわたる工業生産の拠点として位置づけ、産業構造の高次化と雇用の拡大を図り、地域の活性化を促進していく最重要施策に掲げて、企業誘致等を推進中である。

この工業団地の誘致企業に対して、工業用水の安定供給を図ることを目的に工業用水道事業を実施した。

○事業の経緯

郡山市工業用水道事業は、平成3年に、通商産業省の補助事業の採択を受け、計画取水量10,200 m³/日、計画給水量9,415 m³/日の全体計画で、国庫補助及び(財)郡山市開発公社の負担金等により、平成3年度から平成7年度までの五ヵ年計画で施設整備に着手し、平成4年10月より一部給水開始した。

しかし、日本経済の長期低迷により、立地予定企業の撤退、誘致企業の二期工事等増設計画の見直し、用水の循環利用の推進等により、工業用水の需要計画は、給水開始当初から大幅な需要減となり、全体計画給水量9,415 m³/日に対し、3,190 m³/日の契約水量にとどまっております。補助事業による施設整備計画も、平成6年度より休止しているところである。

その後、新たな工場の誘致、及び団地内水源である、取水井戸の水質悪化や、自然水位の低下による渇水により、取水量が減少している状況などから、新たな水源の確保が必要となり、平成13年

度取水施設工事、平成14年度電気計装工事を施工した。

○ユーザーの概要

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
医薬品	1	30
化学	2	960
機械	2	210
金属	1	200
ゴム	1	200
食品	1	240
電子	1	500
鍍金	1	120
プラスチック	3	450
窯業	1	280
合計	14	3,190

(平成18年4月末現在)

○工業用水道施設の概要

郡山市工業用水道事業は、団地内地下水を取水しポンプ圧送により管径150mm、100mmの導水管にて、西部工業用水道浄水場まで導水している。浄水場では、凝集剤注入後、傾斜管式沈澱池にて処理、急速ろ過池にて砂ろ過後、配水池へ圧送。配水池より自然流下方式で、各企業へ配水している。配水管は、管径350mmが約800m、管径250mmが約400m、管径200mmが約2,300mで供給している。

○事業の特徴

<工業団地の紹介>

郡山西部第二工業団地は、郡山市の西北部にあり、郡山地域テクノポリスの西部開発ゾーンに位置することから、ハイテク産業の受け皿を目指し、研究開発と生産の両機能の集積を図るとともに、自然と生活環境の調和にも配慮した理想的なインダストリアルパークを目指している。

○郡山市のホームページアドレス

<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/>

郡山西部第二工業団地 位置図

郡山市工業用水道給水区域

